

【事務局より】

疫学公表文献について、研究結果の分類及び分類の判断理由の案を作成しました。

[No.]～[備考]は、基本的にリスク管理機関から提出された資料のままの記載としています。

事務局追記

文献の研究結果の分類（「評価に使用する可能性のある文献」/「評価に使用しない文献」）及び判断理由に記載する内容について御検討ください。

評価に使用する可能性のある文献に分類した文献については、評価書案に記載しておりますので、そちらも併せて扱いについて御検討ください。

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	原著 /総説	海外評 価書で の引用 の有無	ドジ エでの引 用の有 無	備考	研究結果の分類	分類の判断理由	事象 (疾病等)
1	Residential proximity to agriculture and risk of childhood leukemia and central nervous system tumors in the Danish national birth cohort	Environment International, (October 2020) Vol. 143. pp. 105955. Refs: 55 ISSN: 0160-4120; E-ISSN: 1873-6750 CODEN: ENVIDV	2020	Deven M. Patel ^a , Steen Gyldenkerne ^b , Rena R. Jones ^a , Sjurdur F. Olsen ^c , Gabriella Tikellis ^d , Charlotta Granström ^c , Terence Dwyer ^d , Leslie T. Stayner ^e , Mary H. Ward ^a	^a Occupational and Environmental Epidemiology Branch, Division of Cancer Epidemiology and Genetics, National Cancer Institute, National Institutes of Health, ^b Aarhus University, Department of Environmental Science ^c Department of Epidemiology Research, Center for Fetal Programming, Staten Serum Institute ^d Murdoch Children's Research Institute, Royal Children's Hospital, University of Melbourne ^e Division of Epidemiology and Biostatistics, School of Public Health, University of Illinois at Chicago	https://doi.org/10.1016/j.envint.2020.105955	原著	—	—	—	評価に使用する可能性のある文献	・自宅付近の作物とその地域で販売使用される農薬からばく露量を推定し、15歳未満の小児白血病及び中枢神経系（CNS）腫瘍の発生と妊娠中の農薬ばく露との関連を評価	15歳未満の小児白血病及び中枢神経系（CNS）腫瘍

研究結果詳細

文献番号	著者名	研究デザイン								健康関連の事象の情報								
		国名	試験設計	調査時期	対象者・年齢	アウトカムの定義	アウトカムの確認方法	暴露指標の定義	暴露の確認方法	試験全体のN数(症例/対照)	アウトカムのN数(症例)	分析カテゴリー	暴露に係るN数(症例/対照)	相対リスク/オッズ比	95%信頼区間	P値	交絡因子の考慮	備考(他の文献との関連等)
1	Deven M. Patel, Steen Gyldenkærne, Rena R. Jones, Sjurður F. Olsen, Gabriella Tikellis, Charlotta Granström ^c , Terence Dwyer, Leslie T. Stayner, Mary H. Ward	デンマーク(全国、Danish National Birth Cohort (DNBC))	前向きコホート研究 ^a	1996~2014年	妊婦及びその生産児	Childhood leukemia	Danish Childhood Cancer Registry(デンマーク小児がん登録)	自宅付近(500m以内)の作物に散布された推定農薬量	作物分布と各作物に使用された農薬の統計情報からの推定	91769(妊婦) 96841(生産児) ^b	61	自宅付近(500m以内)の作物に散布された推定農薬使用量の三分位点 0~0.002 [g] >0.02~0.52 [g] >0.52~16928 [g]	14 11 19	1.6 1.3 2.2	0.8-3.4 0.5-3.2 0.9-5.2	-	生産児の性別、母親の年齢、自宅から1000m圏内の動物からの総窒素排出量	農薬の暴露量が自宅付近の植栽作物とその地域で販売使用される農薬からの間接的な推定で暴露と疾病との因果関係が明らかではない。
1	(同上)	(同上)	(同上)	(同上)	(同上)	CNS tumor	(同上)	(同上)	(同上)	(同上)	59	(同上)	15 16 9	1.3 1.2 0.6	0.6-2.7 0.5-2.6 0.2-1.7	-	(同上)	

【井上専門参考人より】

下線部^a：この解析では、ケース・コホート研究デザインで解析。コホートは対象者全体からランダムサンプリングにより10%を抽出

下線部^b：解析対象として10%ランダムサンプリング(n=9362, 191症例/9171対照)